

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	38	学校名	仙台市立台原小学校	校長名	石川 裕美
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「自分たちが住む地域の自然や環境について知ろう！考えよう！」



2 取組の紹介

【校内の花壇づくり】

全校児童で、学校内の花壇や鉢の苗植えに取り組みました。各学年で作業を分担し、その後は植えた苗を大切に育て、環境委員会を中心に花や緑の豊かな環境作りに励みました。2学年では、学年でも野菜を育て、種まきから収穫まで取り組みました。

【台原森林公園をフィールドにした学習】

台原森林公園は、学区内にある身近で大きな公園です。1学年では、生活科の授業で、公園の自然に触れ合いました。

3学年では、総合的な学習の時間に、公園にある「ホタルの里」で、ホタルの生態系や環境を守ることの大切さについて学びました。外部講師からお話を聞き、「ホタルの里」の池ができるまでの経緯やホタルの生育等を詳しく知ることができました。



【防災・安全について考えよう】

4学年では、総合的な学習の時間で外部講師を招き、防災や安全について学びました。段ボールジオラマを活用しながら学区の危険な場所を知り、学区のハザードマップを考えました。また、救急救命講習を生かし地域の防災のためにできることや緊急時の備えや対応について学びました。

【身近な自然環境の問題を知ろう】

5学年では、総合的な学習の時間に外部講師を招き、地球の温暖化現象について学びました。さらに、貴重な水や食料についても外部講師を招いて学習しました。校外学習では、七北田川へ行き、上流から下流にかけての水質や生物調査を体験しました。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

花苗を植える作業体験を通して、子供たちは自然の美しさを感じながら、学校の植物を大切に、豊かにしていきたいという思いを持ちました。2学年では、野菜を育てることを通して、植物の成長過程や収穫の喜びを学びました。

台原森林公園での様々な活動では、1年間を通して計画的に活動を実施したことにより、四季の変化や特徴について見取ることができました。

4学年で行った総合的な学習の時間での学びでは、地域の防災について考える学習へ発展しました。地域のハザードマップを活用し、危険な場所や避難場所などについて話し合いました。段ボールジオラマを活用することで、ふだん見慣れている通学路にも危険が多く潜んでいることに気づき、新しい視点で捉え直すことができました。

5学年で行った総合的な学習の時間の学びを一人一人スライドにまとめ、発表しました。自然と触れ合いながら、価値を改めて見直すことができ、環境問題について考える大切さに気付くことができました。

